

修士論文（要旨）
2009年1月

中国語・モンゴル語バイリンガルの日本語学習
—内モンゴルの日本語学習者の語彙学習を中心に—

指導 宮副ウォン裕子 教授

国際学研究科
言語教育専攻
207J4007

サイシヤラト
赛希雅拉图

目 次

第1章 研究の背景・目的・先行研究

- 1.1 研究の背景・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 1.2 研究目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 1.3 先行研究・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
 - 1.3.1 語彙の分類・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
 - 1.3.2 学習ストラテジーに関する分類・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
 - 1.3.3 語彙学習ストラテジーに関する研究・・・・・・・・・・・・・・・・3
- 1.4 本稿で扱う語彙ストラテジーの定義・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

第2章 内モンゴルの日本語教育概観

- 2.1 現在の中国の行政区画と民族構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
- 2.2 中国のモンゴル族の分布・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
- 2.3 内モンゴルの面積と人口・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
- 2.4 モンゴル人の使用言語・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
- 2.5 内モンゴルの日本語教育の変遷・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

第3章 調査概要と分析枠組み

- 3.1 調査方法とその相互関係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
- 3.2 学習者へのフォローアップインタビューの分析枠組み・・・・・・・・11

第4章 記述と分析

- 4.1 質問紙調査の分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
- 4.2 学習者へのフォローアップインタビューの分析・・・・・・・・・・・・22
- 4.3 色付きカードによる実験の分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・45
- 4.4 教師へのインタビューの分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・54
- 4.5 使用教科書の分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・56

第5章 総合的考察

- 5.1 中国語・モンゴル語バイリンガルの日本語学習・・・・・・・・・・59
- 5.2 語彙学習ストラテジー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・60
- 5.3 産出語彙・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・60
- 5.4 教師の教え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・61
- 5.5 使用教科書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・62
- 5.6 日本語能力試験の波及効果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・63

第6章 まとめと日本語教育への提言

- 6.1 まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・64
- 6.2 日本語教育への提言・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・65
- 6.3 今後の課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・66

謝辞

参考文献

資料

要旨

【キーワード：中国語・モンゴル語バイリンガル、語彙学習ストラテジー、受容語彙、産出語彙、自律学習、教育媒介語】

第1章 研究の背景・目的・先行研究

中国の内モンゴル自治区の4大学の日本語学科では、中国語を教育媒介語とした日本語指導が行われてきた。2001年より、3大学でモンゴル語による指導も開始され、学習者のモンゴル語、中国語、英語の運用能力の違いが日本語の語彙学習の際に、意味の範囲、ニュアンスや学習方法、語彙の産出などにも影響を及ぼしていることが観察されている。本研究はモンゴル語を教育媒介語とする日本語学習者の①語彙の受容的学習(ストラテジー)と産出的学習のストラテジー、②学習者の語彙学習に影響を及ぼす諸要因の分析・考察を研究目的とする。先行研究に Nation(2005)、オックスフォード(1994)、ネウストプニー(1995)などがある。

第2章 内モンゴルの日本語教育概観

現在の中国の行政区画と民族構成、中国のモンゴル族の分布、内モンゴルの面積、人口、使用言語、民族教育、日本語教育の変遷などを通して、内モンゴルの日本語教育の現状、日本語学習者の背景を概観し、本研究の社会、文化、教育、歴史面の文脈を提示する。

第3章 調査概要と分析枠組み

1)内モンゴルの102名の日本語学習者に質問紙調査、2)12名の大学の日本語学科の学習者にフォローアップインタビュー(FUI)、3)2名の大学の日本語教師のインタビュー、4)12名の協力者に色付きカード(赤、青、黄色)を見せ、色別に連想する10個の単語を記述、5)4大学の日本語学科で使用している教科書名の記述データが、調査分析の対象である。ネーション(2005)にもとづき分析枠組みを改訂・作成し、FUIのデータの考察を行った。

第4章 記述と分析

1)質問紙調査、2)学習者へのFUI、3)色付きカードによる実験、4)教師へのインタビュー、5)使用教科書の調査に沿って学習者の語彙の受容的学習ストラテジーと産出的学習ストラテジー、語彙学習に影響を及ぼす諸要因を分析・考察した。

第5章 総合的考察

中国語・モンゴル語バイリンガルの日本語学習者の語彙学習には、多言語運用能力、個人の語彙学習ストラテジー、多言語多文化意識、教師の教え方、使用教科書、日本語能力試験の波及効果などが作用し合い、影響していることが明らかになった。

第6章 まとめと日本語教育への提言

本研究で明らかになった学習者の語彙学習方法、それに影響を与えている諸要因、学習者が抱える悩みなどをまとめる。また、今後の内モンゴルの日本語教育の健全な発展には、学習者の民族言語を土台として教育を行い、教科書を編纂することを主張したい。

参考文献

- 王 伸子 (1990) 「日本語学習における学習ストラテジーの考察—ある学習者にみる新出単語記憶方法の観察」『名古屋大学日本語学科日本語教育論集』1,39-47 名古屋大学日本語学科
- オックスフォード、レベッカ.L. (1998) *Language Learning Strategies*. Newbury House.
(宍戸通庸・半紀子訳)『言語学習ストラテジー —外国人教師が知っておかなければならないこと—』凡人社
- 門田修平 (2003)『英語のメンタルレキシコン 語彙の獲得・処理・学習』松柏社
- 木村宗男編 (1991)『日本語教育の歴史』明治書院
- 金英実 (2006)「環境の違いによる学習ストラテジーの変化 —語彙学習を中心に—」桜美林大学院日本語教育専修修士論文
- 小池生夫編 (2004)『第二言語習得研究の現在 —これからの外国語教育への視点から—』大修館書店
- サイシャラト (2007)「内モンゴルの大学における日本語教育政策」東京外国語大学学部論文
- サイシャラト (2008)「中国語・モンゴル語バイリンガルの日本語学習 —語彙学習を中心に—」2008年11月「日中対照言語学会20回大会口頭発表」
- 迫田久美子 (2005)『日本語教育に生かす第二言語習得研究』株式会社アルク
- 須賀一好・早津恵美子 (2001)『動詞の自他』ひつじ書房
- 田中望・斉藤里美 (1993)『日本語教育の理論と実際—学習支援システムの開発』大修館書店
- 谷内美智子 (2002)「第二言語としての語彙習得研究の概観—学習形態・方略の観点から—」『第二言語習得・教育の研究最前線—あすの日本語教育への道しるべ—』凡人社
- 東保登紀代 (1998)「作文に見られる学習者のストラテジー」大阪大学留学生センター研究論集 2, 77-93, 19980000 (ISSN 13428128)
- ネーション (2005)『英語教師のためのボキャブラリー・ラーニング』松柏社
- ネウストプニー,J.V(1995)『新しい日本語教育のために』大修館書店
- ネウストプニー・宮崎里司 (2007)『言語研究の方法』くろしお出版
- 浜田麻里・文野峯子他 (2004)『日本語学習者と環境との相互作用に関する研究』平成13年度—平成15年度科学研究費補助金研究成果報告書 (研究代表者文野峯子)
- 林さと子 (2006)『第二言語学習と個別性 —ことばを学ぶ一人ひとりを理解する』春風社
- 細川英雄 (編) (2002)『ことばと文化を結ぶ日本語教育』凡人社
- 松下達彦 (2002)「初級日本語文法学習に使える中上級語彙の検討—中国語系日本語学習者のための語彙学習先行モジュール開発に向けて—」『日本文化論叢』大連理工大学出版社
- 宮崎里司・J.V.ネウストプニー (1999)『日本語教育と日本語学習』くろしお出版
- 宮副ウォン裕子 (1998)「自律的日本語学習支援のためのネットワーク・ストラテジー」『日本学刊』2. 1-15 香港日本語教育研究